

LT 4600

マルチフォーマットビデオジェネレータ

取扱説明書（ロゴアプリ編）

目次

1.	はじめに	1
2.	準備	1
3.	インストール	2
4.	アンインストール	4
5.	使用方法	4
6.	ロゴの表示	8

1. はじめに

本書は、LT 4600 に付属のロゴアプリケーション(以下、ロゴアプリ)について説明したものです。LT 4600 の使用方法は、LT 4600 の取扱説明書(本編)を参照してください。

ロゴアプリとは、ビットマップデータ(*.bmp)を、LT 4600 で使用できるモノクロ 4 階調のデータ(*.lg)に変換するソフトウェアのことです。

2. 準備

ロゴアプリの使用には以下の機器が必要です。お客様自身でご用意ください。

必要な機器	環境条件
PC	<ul style="list-style-type: none">・ Microsoft Windows Vista / 7・ Microsoft .Net Framework 3.5 以上がインストールされていること
USB メモリー	<ul style="list-style-type: none">・ 8GB 以下

3. インストール

以下の手順で、PC にロゴアプリをインストールします。

ロゴアプリをアップデートするとき、旧版をアンインストールする必要はありません。上書きされます。

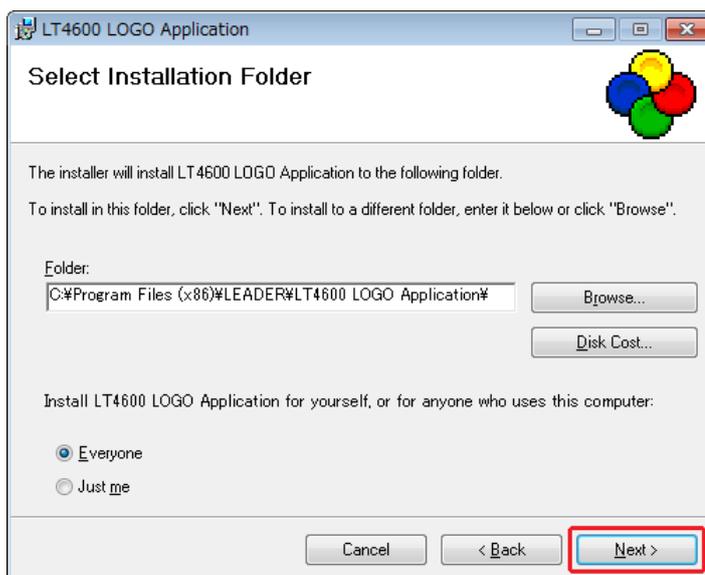
1. LT 4600 に付属の CD-ROM を開き、「LT4600_LOGO_Application_Installer.msi」を実行します。

- ⊙ CD-ROM
 - └ 𐄂 Instruction_Manual_for_LT_4600
 - └ 𐄂 LOGO_Application_v1.0
 - └ 𐄂 LT4600_LOGO_Application_Installer.msi

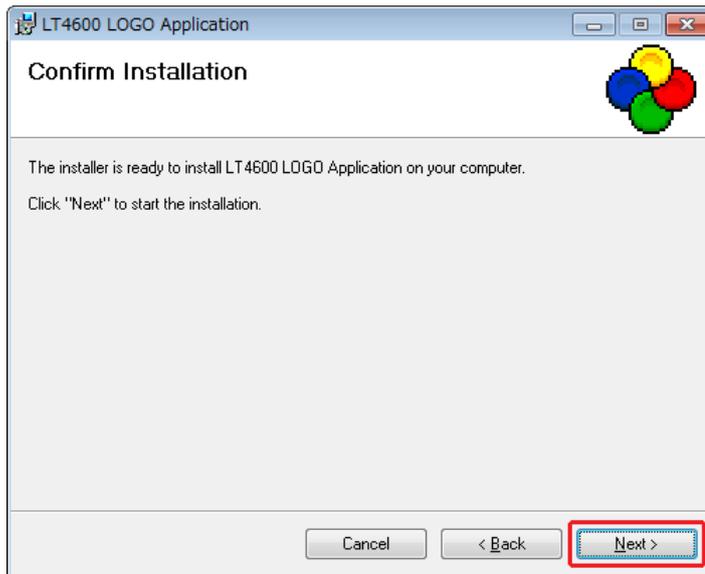
2. 以下の画面が表示されたら、「Next」を押します。



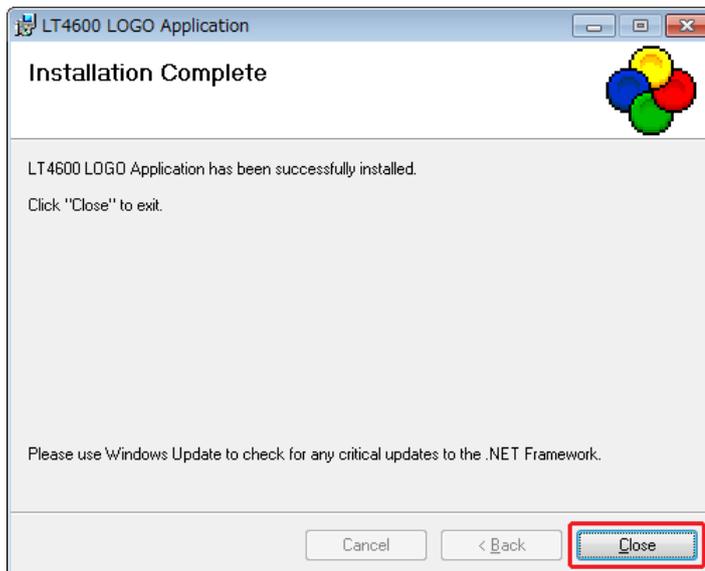
3. 以下の画面が表示されたらインストール先を設定して、「Next」を押します。



4. 以下の画面が表示されたら、「Next」を押します。

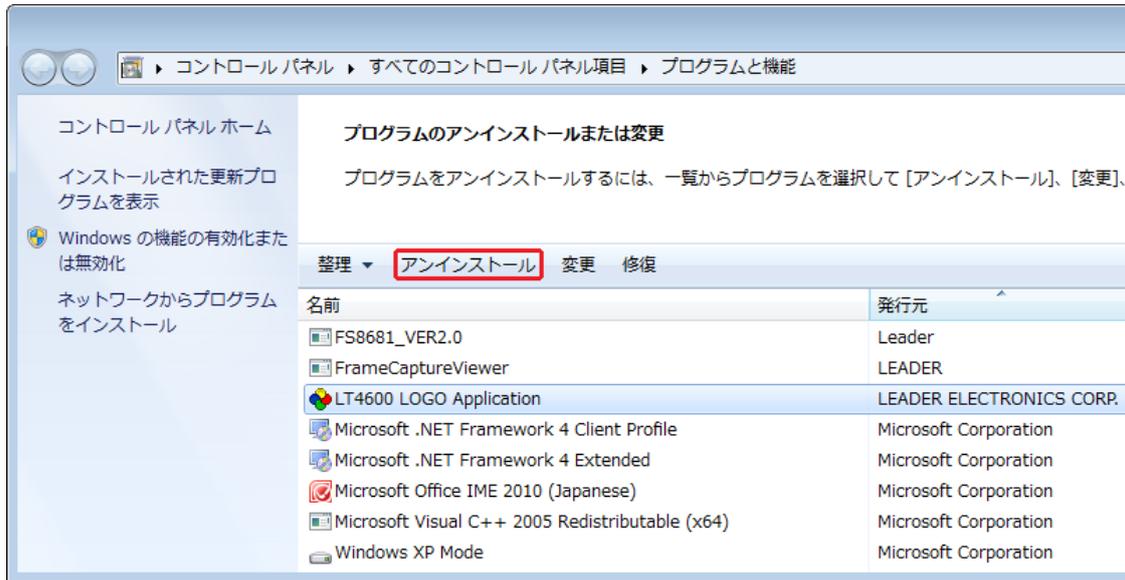


5. 以下の画面が表示されたら完了です。「Close」を押してください。



4. アンインストール

ソフトウェアをアンインストールするには、コントロールパネルの「プログラムと機能」で「LT4600 LOGO Application」を選択し、「アンインストール」を押します。



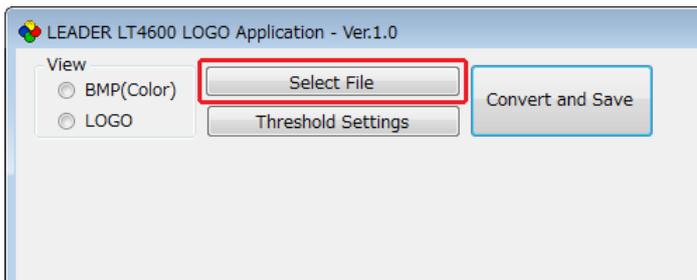
5. 使用方法

以下の手順で、ビットマップデータ (*.bmp) をモノクロ 4 階調のデータ (*.lg) に変換します。

1. PC のデスクトップに表示される「LT4600 LOGO Application」を起動します。



2. 「Select File」を押します。



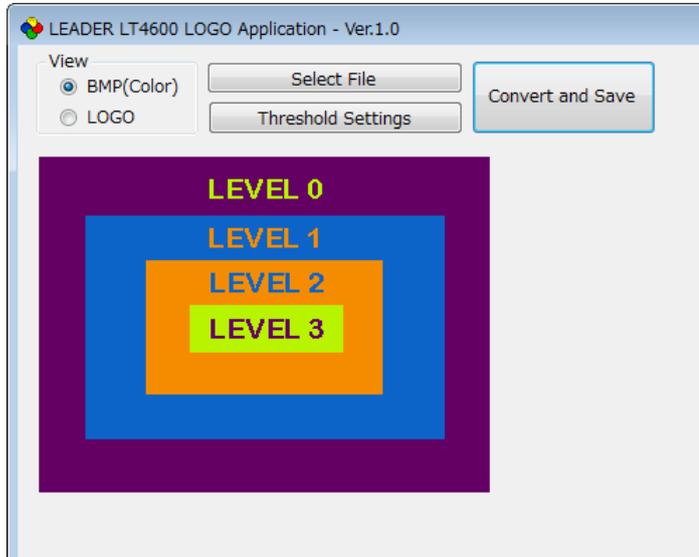
3. ビットマップデータ (*. bmp) を選択します。

以下のファイルを選択してください。変換後のデータ (*. lg)は選択できません。

ファイル名: 半角英数字またはアンダーバー、8文字まで(拡張子除く)

ファイル形式: 24ビット、256色、16色

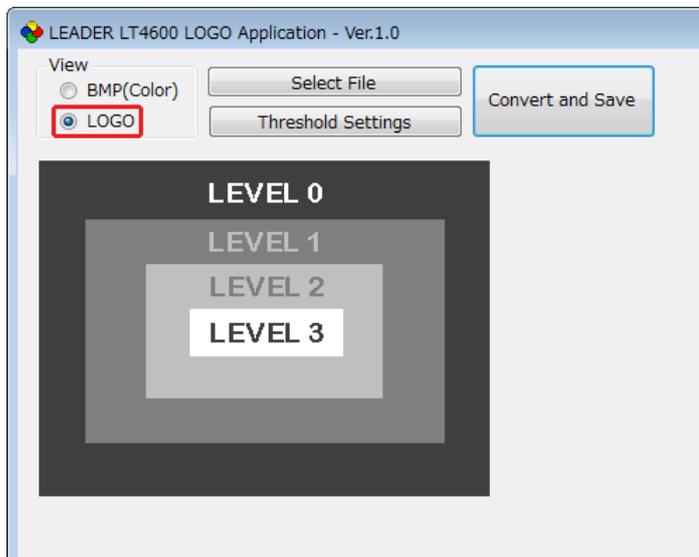
ファイルサイズ: 幅 320(dot)×高さ 240(line)まで



4. 「LOGO」を押して、変換後のデータを確認します。

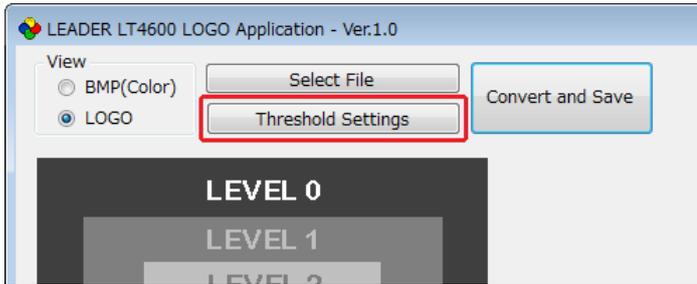
変換後のデータに問題がなければ、データを保存します。「手順7」に進んでください。

ここでは4階調の判別のみ確認します。実際にLT 4600で表示されるときの輝度はLT 4600のメニューで任意に設定できるため、ここで表示されたものとは異なります。

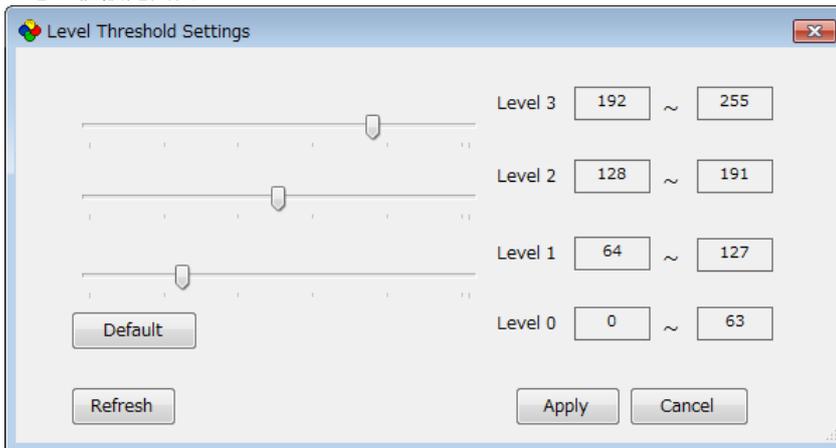


5. 「Threshold Settings」を押して、変換時のしきい値を設定します。
しきい値はスライダーで設定してください。

メイン画面



しきい値設定画面



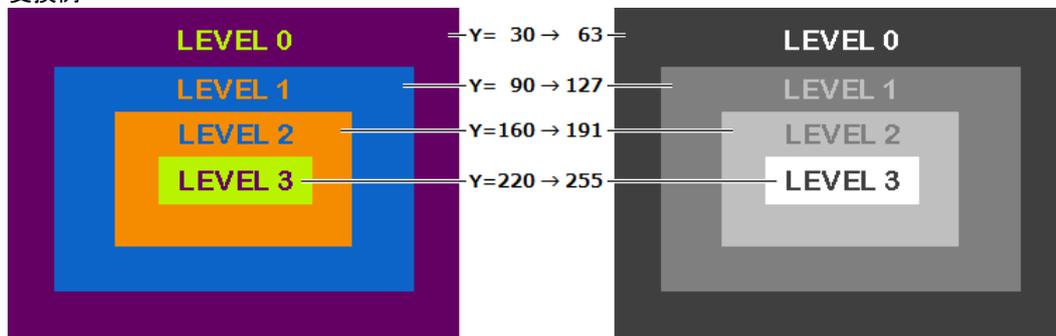
●しきい値について

しきい値は輝度(Y)を表し、R、G、Bを0～255としたとき、
 $Y = 0.212 * R + 0.701 * G + 0.087 * B$
 で求められます。

たとえばしきい値を上図のように設定した場合、以下のルールで変換します。

- ・輝度0～63をレベル0に変換し、輝度63で表示
- ・輝度64～127をレベル1に変換し、輝度127で表示
- ・輝度128～191をレベル2に変換し、輝度191で表示
- ・輝度192～255をレベル3に変換し、輝度255で表示

変換例



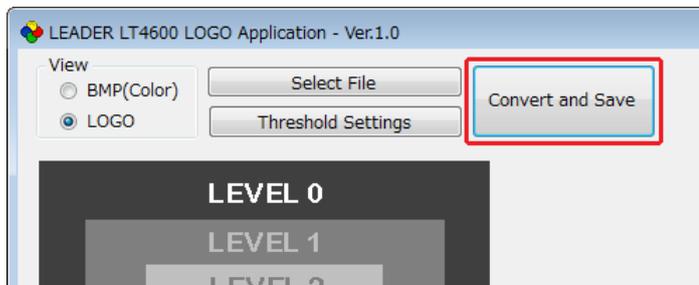
●しきい値設定画面の説明

項目	説明
Default	しきい値を以下の値に戻します。 Level 3: 192~255 Level 2: 128~191 Level 1: 64~127 Level 0: 0~63
Refresh	設定したしきい値で変換した結果を、メイン画面に表示します。 「Apply」を押すまで値は確定しません。
Apply	値を確定して、しきい値設定画面を閉じます。
Cancel	値をキャンセルして、しきい値設定画面を閉じます。

6. 「Apply」を押して、設定を確定します。
7. 「Convert and Save」を押して、データの変換と保存をします。

変換前のデータと同じ場所に、拡張子を変えた同じファイル名で保存されます。

例: test.bmp → test.lg



8. 以下の確認メッセージが表示されたら、「OK」を押して完了です。



6. ロゴの表示

ロゴアプリで変換したデータを、LT 4600 の SDI 信号に重畳する手順を示します。
詳細は LT 4600 の取扱説明書を参照してください。

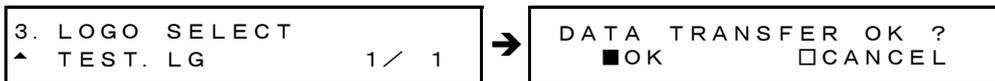
1. 変換後のロゴ(*.lg)を、USBメモリーのLOGOフォルダの下に置きます。

```
┆ USBメモリー
┆ ┆ LT4600
┆ ┆ ┆ LOGO
┆ ┆ ┆ ┆ *.lg
```

2. LT 4600 に USBメモリーを接続します。
3. LT 4600 の「LOGO SELECT」でロゴを選択し、転送します。

右下が「INT_*」のデータは、あらかじめ本体にインポートしたロゴを表しています。
USBメモリーのロゴを表示するには、右下が「*/*」のデータを選択してください。

SDI SETTING → SDI → LOGO →



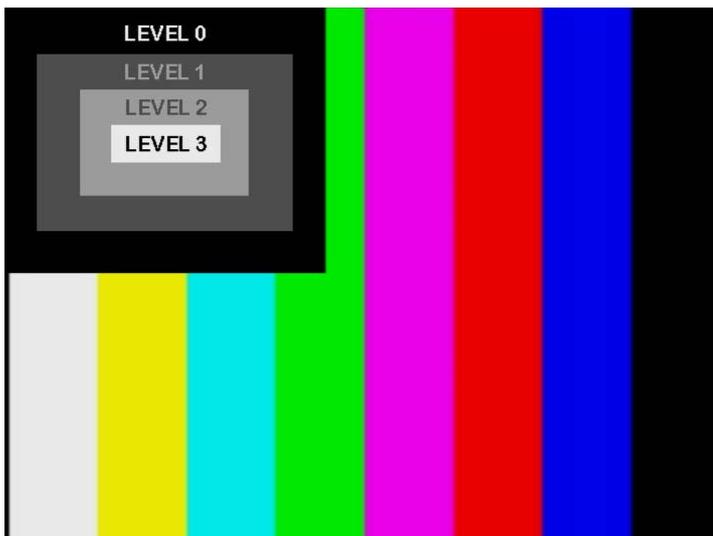
4. LT 4600 の「LOGO ON/OFF」で「ON」を選択します。

SDI SETTING → SDI → LOGO →



ロゴがパターンの左上に表示されます。ロゴの位置を移動したり、ロゴの輝度を変更したりすることもできます。

なお、パターンがチェックフィールドのとき、ロゴは表示できません。



リーダ一電子株式会社 <http://www.leader.co.jp>

本社・国内営業部 〒223-8505 横浜市港北区綱島東 2 丁目 6 番 33 号 (045) 541-2122 (代表)